

**本会記事**

第 14 回核融合エネルギー連合講演会 —核融合エネルギー産業の創出に向けて— 一般講演（ポスター発表）募集

核融合エネルギーの実現に向けた ITER 計画は、現在、建設工程の 7 割を超え、2025 年に実験を開始すべく参加全極が最大の努力を続けています。並行して、大型ヘリカル装置 LHD の重水素実験は当初の目的を順調に達成しつつあり、第 2 期に入った幅広いアプローチ活動では発電実証のための原型炉の設計・開発が精力的に進められています。また、慣性核融合においては、米国で核燃焼が達成される共に、我国の GEKKO-XII/LFEX レーザーでも高速点火の実現に向けた研究が着実に進展しています。これら大型プロジェクトの成功には、それを支える国内産業基盤の構築が不可欠です。さらに、国が牽引するプロジェクトのみならず、民間においても核融合発電をめざすスタートアップ企業が数多く創業されています。

本講演会は、核融合発電に向けて加速する研究開発の成果を広く発信し、核融合エネルギーの研究開発に対する社会の理解と信頼を得ると共に、多様な学協会や産業界の皆様と広範な議論を展開する貴重な機会となっています。今回は特に、産業界との連携を強化することをめざします。活気ある討論を展開したく、多くの方々のご参加をお願いします。

組織委員長 波多野雄治（日本原子力学会・核融合工学部会長）

1. 会期：2022 年 7 月 7 日（木）～ 8 日（金）

2. 会場：オンラインでの開催

3. 講演者の資格

主催学会（日本原子力学会・プラズマ・核融合学会）並びに協賛学協会の会員

（詳細は Web（<http://www.jspf.or.jp/14rengo/>）参照）。

協賛学会（予定）

エネルギー・資源学会，応用物理学会，スマートプロセス学会，低温工学・超電導学会，電気学会，日本加速器学会，日本機械学会，日本金属学会，触媒学会，日本表面真空学会，日本赤外線学会，日本地球化学会，日本鉄鋼協会，日本物理学会，日本放射化学会，日本放射線影響学会，日本保健物理学会，腐食防食学会，放電学会，溶接学会，レーザー学会，IEEE Nuclear and Plasma Science Society Japan Chapter

4. 一般講演の発表形式

- ・ポスター発表
- ・発表言語：日本語または英語
- ・発表資料及び講演予稿：日本語または英語
(但し，英語を推奨します)

5. 一般講演の制限

- ・講演登録をすませた講演発表者（登壇者）1 名につき 1 件のポスター発表が可能です。ポスター発表の連名者としての登録件数制限はありません。なお，招待講演やシンポジウム講演に関しましては，発表件数の制限はありません。

6. 講演募集分野

連合講演会の趣旨にそったもので，以下に記す分野において最近行われた研究の紹介，トピックスのミニレビューなど，学術的に価値のあるものに限ります。

一般講演募集分野：

A) 炉設計，B) 超伝導コイル，C) ブランケット，D) ダイバータ，E) 加熱・電流駆動システム，F) 炉心プラズマ，G) 核融合燃料システム，H) 炉材料と規格基準策定，I) 安全性と安全研究，J) 稼働率と保守性，K) 計測・制御，L) レーザー方式の研究開発，M) 社会経済研究・社会連携の推進，N) プラズマ基礎・応用，O) 核融合中性子源，P) その他関連研究

A) Demo Design, B) Magnet, C) Blanket, D) Edge and Divertor, E) Heating and Current-Drive System, F) Core Plasma, G) Fusion Fuel System, H) Fusion Materials, Plasma Facing Components and Standardization, I) Safety and Safety Research, J) Availability & Maintenance, K) Diagnostics and Control, L) Research and Development of Laser Fusion Energy, M) Promotion of Socio-Economical Assessment and Cooperation with Society, N) Fundamental and Application of Plasma, O) Fusion Neutron Source, P) Other Related Research

7. 講演申込期限

Webによる受付締切：2022 年 4 月 8 日(金) 昼 12:00

- ・一般講演申込は，Web で受け付けます。【Web 講演申込記入上の注意】に従って，期限までに申し込んでください。

- Web での申し込みは上記締切期限を過ぎますとアクセスできなくなりますのでご注意ください。
- Web 登録が受け付けられると、登録完了画面が表示され、受付番号を記載した電子メールが連絡代表者に送られます。この電子メールが届かない場合は正常に登録されていないことが考えられますので、その場合には4月11日(月)までに必ず事務局までご連絡ください。
- 発表の可否、講演番号は5月上旬にお知らせします。
- 講演申込で登録された登壇者名、講演題目がそのままプログラムに記載されます。受付・締切後はこれらの項目の変更は認められません。
- やむを得ず当日に講演できなくなった場合には、速やかに事務局に連絡してください。

8. ポストデッドライン (PD) 講演

- 講演申し込み締切後に、有意義でかつ緊急に発表する価値があると認められる結果が得られた場合には、ポストデッドライン講演として申し込むことができます。
- Web ページでの指示に従い、6月20日(月)～6月24日(金)17時までに事務局まで所定の内容を電子メールで送信してください。
- 申し込み内容は事前に審査され、7月1日(金)までに採択結果を通知します。
- 審査の結果、発表が認められない場合もあります。

9. 講演予稿集について

Webによる講演予稿原稿提出期限： 2022年6月24日(金)

- Web ページ掲載の【予稿原稿作成上の注意】に従って、必ず期限までに予稿原稿を提出してください。
- 提出期限後においては、すでに提出された予稿原稿の内容書き換えあるいは掲載取り下げは認められません。
- 予稿及びプログラムは Web からダウンロードしてご覧いただけます。

10. 参加登録及び参加費

- 講演を申し込まれる方、参加のみされる方、いずれの場合も Web ページよりご登録ください。
- 参加登録期限 2022年6月1日(水)
- 登録終了後、順次、事務局からハガキ型払込取扱票(全国のコンビニエンスストアで取り扱い可)を郵送いたしますので、6月12日(日)までにお支払いください。
- オンライン登録がお済みでも、期日までに払い込みいただけない場合は「割増料金」が適用されますのでご注意ください。事務処理の効率化を図るため、本講演会への参加申し込みは原則として事前登録と

させていただきますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 参加費：
主催学会・協賛学協会 正会員 6,000 円(不課税)、
学生会員 3,000 円(発表する場合の参加費・不課税)
非会員 7,000 円(税込)
- 聴講のみの学生の参加は会員・非会員共に無料(ただし、参加登録は必要)です。
- 払込期限の6月12日以降は、上記参加費に一律1,000円の割増し料金が付加されます。
- 尚、クレジットカードのお取り扱いは行っておりません。
- 納入された参加費は原則として返金いたしません。

11. 若手優秀発表賞

本講演会で大変優秀な発表を行った若手(博士の学位取得後5年以内、学部卒業後10年以内もしくは、学生の方が対象)の方々に、若手優秀発表賞を授与いたします。受賞者には、講演会最終日クロージングにて、表彰式を行います。

12. 連絡先

第14回核融合エネルギー連合講演会
事務局
〒464-0075
愛知県名古屋市千種区内山3-1-1-4F
プラズマ・核融合学会内
E-mail : plasma@jspf.or.jp

* 最新の情報は講演会 Web ページ

(<http://www.jspf.or.jp/14rengo/>)にてご確認ください。